



できることを一つ一つ

米倉 卓司

新型コロナウイルスの多大な影響を受ける中、新年度がスタートしました。学校もまた大きな影響下にあります。現在も感染拡大について予断を許さない状況にあり、集中対策期間措置から再度の休校措置となりました。国の緊急事態宣言により、学校だけでなく多くの方が制約をうけています。

社会的・経済的苦境に立たされている方も多くいます。医療の最前線で頑張っている方々が誹謗中傷を受けたり、必需品の販売を続けてくださるお店や店員が暴言や暴力を受けたりする残念な案件も報じられています。

今後も変化するだろう感染の影響に合わせて判断していくことになり、そのため長期的な見通しが立たない状況にあります。出口の見えない苦境がいらだちを募らせ、私たちの心身や、世の中全体を疲弊させています。

そうした中で、傷ついた気持ちや疲れた心を癒やすような、音楽界やスポーツ界などからの提案やメッセージも聞かれます。前を向いて行くこと、希望を見いだしていくことはとても大切です。

まずは、私たちの大切な家族や友人を危険にさらさないために、健康で安全な生活を取り戻すために、どうしたらよいかをしっかりと考えた行動しましょう。

そして可能な限りの工夫をして、できることを一つ一つ積み重ねて、みんなで乗り越えていきましょう。

令和2年度 沼田学園沼田中学校 入学式

4月7日（火）、令和2年度沼田学園沼田中学校入学式が執り行われました。本年度は、19名の新入生（1年生）を迎えました。

式中には、担任から名前を呼ばれた新入生全員が中学校生活への期待と希望を込めて立派に返事をしていました。

中学校は未来を自らの力で切り開くための学びの場です。人との関りを大切にしながら、充実した3年間を過ごしてください。また、今年度も全校生徒57名、力を合わせて沼田学園の新たな歴史の1ページを築いてほしいと思っています。

